

だい かいけいかくけんとうぶかいしりょう 第1回計画検討部会資料	
れいわ ねん がつ にち 令和8年6月15日	しりょう 資料6—1

だい き だい きしょう ふくしけいかくおよ だい き だい きしょう じ  
第6期、第7期障がい福祉計画及び第2期、第3期障がい児  
ふくしけいかく せいかもくひょう じっせき  
福祉計画の成果目標の実績について

成果目標1 入所施設の入所者の地域生活への移行

■施設入所者の地域生活への移行者数

【札幌市の第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画の目標】

2020年3月31日の施設入所者2,009人のうち、2023年度末（2024年3月末）において60人（3%）以上の方が地域生活に移行することを目指します。

項目	2020年度実績	第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画			
		2021	2022	2023	2023目標
地域生活移行者 (期累計)	(31人)	36人	58人	71人	60人
2019年度末 入所者数 (2,009人)比	(1.5%)	1.8%	2.9%	3.5%	(3%)

※北海道調べ

【札幌市の第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画の目標】

2022年度末の施設入所者1,920人のうち、2026年度末において80人（4.2%）以上の方が地域生活に移行することを目指します。

項目	2023年度実績	第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画			
		2024	2025	2026	2026目標
地域生活移行者 (期累計)	(13人)	26人	→	→	80人
2022年度末 入所者数 (1,920人)比	(0.7%)	1.4%	→	→	(4.2%)

※北海道調べ

○移行者数の伸びは鈍化傾向にあり、目標達成へのハードルは高い状況だが、引き続き地域移行に向けた取組を継続していく。

■ 施設入所者数の減少

【札幌市の第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画の目標】

2023年度末の施設入所者を、2020年3月31日(2019年度末)時点の施設入所者数2,009人から110人(約5.5%)以上減少することを目指します。

項目	第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画					
	2019	2020	2021	2022	2023	2023 目標
施設入所者	2,009人	1,930人	1,936人	1,920人	1,869人	1,899人
削減数 (対基準年度)		79人	73人	89人	140人	110人
2019年度末 入所者数 (2,009人)比		3.9%	3.6%	4.4%	6.9%	(5.5%)

【札幌市の第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画の目標】

2026年度末の施設入所者を、2022年度末の施設入所者数1,920人から113人(5.9%)以上減少することを目指します。

項目	第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画					
	2022	2023	2024	2025	2026	2026 目標
施設入所者	1,920人	1,869人	1,854人	1,820人	→	1,807人
削減数 (対基準年度)		51人	66人	100人	→	113人
2022年度末 入所者数 (1,920人)比		2.7%	3.4%	5.2%	→	(5.9%)

○第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画においても順調に削減されている。

■ **地域生活支援拠点等の検証と効果的な支援体制の構築**

【札幌市の第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画】

2023年度末までの間、1か所以上の地域生活支援拠点等を確保し、その機能の充実のため、年1回以上運用状況を検証、検討することを目指します。

こ うえき 項目	だい きしやう ふくしけいかく だい きしやう じ ふくしけいかく 第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画			
	2021	2022	2023	2023 目標
かくほ じやうきやう 確保状況	かくほ 確保	かくほ 確保	かくほ 確保	1か所以上確保
けんしやう じやうきやう 検証状況	けんしやう 検証	けんしやう 検証	けんしやう 検証	年1回以上検証

【札幌市の第7期障がい福祉計画・第3期障害がい児福祉計画】

2026年度末までの間、地域生活支援拠点等について、年1回以上、支援の実績等を踏まえ運用状況を検証および検討し、効果的な支援体制の構築を進めます。

こ うえき 項目	だい きしやう ふくしけいかく だい きしやう じ ふくしけいかく 第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画			
	2024	2025	2026	2026 目標
けんしやう けんとう 検証・検討 じやうきやう 状況	けいぞく 継続	けいぞく 継続	→	効果的な支援体制の 構築

○ 地域生活支援拠点を確保し、検証・検討を行っている。

◇ 前回新規 ◇

■ 強度行動障がいに関する支援ニーズの把握と支援体制の整備

【札幌市の第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画】

2026年度末までに、強度行動障がいを有する方の支援ニーズを把握し、支援体制の在り方を整理します。

項目	第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画			
	2024	2025	2026	2026目標
検討状況	継続	継続	→	支援体制の在り方整理

○ 支援体制の在り方を継続して検討しており、令和8年4月からは強度行動障がいを有する児者への集中的支援事業を行っている。

■ 就労移行支援事業所等を通じた一般就労への移行者数

【札幌市の第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画の目標】

2023年度において、福祉施設の利用者のうち一般就労への移行者数を、2019年度の移行実績621人の1.11倍(680人)以上とすることを目指します。

項目	第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画				
	2019	2021	2022	2023	2023目標
一般就労移行者数	621人	614人	638人	564人	680人
2019年度移行実績比		0.99倍	1.03倍	0.91倍	1.11倍

※北海道調べ

【札幌市の第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画の目標】

2026年度において、福祉施設の利用者のうち一般就労への移行者数を、2021年度の移行実績1.15倍(704人)とすることを目指します。

項目	第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画				
	2021	2024	2025	2026	2026目標
一般就労移行者数	614人	647人	→	→	704人
2021年度移行実績比		1.05倍	→	→	1.15倍

※北海道調べ

○目標の達成に向けて順調に推移している。

■ 就労移行支援事業の利用者の一般就労への移行者数

【札幌市の第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画の目標】

2023年度において、就労移行支援の利用者のうち一般就労への移行者数を、2019年度の移行実績424人の1.01倍（430人）以上とすることを目指します。

項目	第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画				
	2019	2021	2022	2023	2023目標
一般就労移行者数	424人	389人	405人	340人	430人
2019年度移行実績比		91.7%	95.5%	80.2%	101%

※北海道調べ

【札幌市の第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画の目標】

2026年度において、就労移行支援の利用者のうち一般就労への移行者数を、2021年度の移行実績389人の1.07倍（417人）とすることを目指します。

項目	第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画				
	2021	2024	2025	2026	2026目標
一般就労移行者数	389人	341人	→	→	417人
2021年度移行実績比		87.7%	→	→	107%

※北海道調べ

○目標の達成に向けて、引き続き支援の充実を目指す。

■ 就労継続支援A型利用者の一般就労への移行者数

【札幌市の第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画の目標】

2023年度において、就労継続支援A型の利用者のうち一般就労への移行者数を、2019年度の移行実績87人の1.15倍（100人）以上とすることをめざします。

項目	第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画				
	2019	2021	2022	2023	2023目標
一般就労移行者数	87人	92人	107人	71人	100人
2019年度移行実績比		105.7%	123%	81.6%	115%

※北海道調べ

【札幌市の第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画の目標】

2026年度において、就労継続支援A型の利用者のうち一般就労への移行者数を、2021年度の移行実績92人の1.09倍（100人）とすることをめざします。

項目	第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画				
	2021	2024	2025	2026	2026目標
一般就労移行者数	92人	98人	→	→	100人
2021年度移行実績比		106.5%	→	→	109%

※北海道調べ

○目標の達成に向けて、順調に推移している。

■ 就労継続支援B型利用者の一般就労への移行者数

【札幌市の第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画の目標】

2023年度において、就労継続支援B型の利用者のうち一般就労への移行者数を、2019年度の移行実績110人の1.36倍（150人）以上とすることをめざします。

項目	第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画				
	2019	2021	2022	2023	2023目標
一般就労移行者数	110人	133人	126人	153人	150人
2019年度移行実績比		120.9%	114.5%	139.1%	136%

※北海道調べ

【札幌市の第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画の目標】

2026年度において、就労継続支援B型の利用者のうち一般就労への移行者数を2021年度の移行実績133人の1.41倍（187人）とすることをめざします。

項目	第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画				
	2021	2024	2025	2026	2026目標
一般就労移行者数	133人	208人	→	→	187人
2021年度移行実績比		156.4%	→	→	141%

※北海道調べ

○目標の達成に向けて順調に増加している。

◇ 前回新規 ◇

■ 就労移行支援事業利用修了者に占める一般就労への移行者の割合が5割以上の事業所の割合

【札幌市の第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画の目標】

就労移行支援事業所のうち、就労移行支援事業利用修了者に占める一般就労へ移行した者の割合が5割以上の事業所を5割以上とすることをめざします。

項目	第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画			
	2024	2025	2026	2026目標
5割以上の事業所	29事業所	33事業所	—	
一般就労への移行者の割合	39.2%	45.2%	→	5割以上

○ 目標の達成に向けて順調に増加している。

■ 就労定着支援事業の利用者数

【札幌市の第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画の目標】

2023年度において、就労移行支援事業所等を通じて一般就労に移行する者のうち、7割が就労定着支援事業を利用することを目指します。

項目	第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画			
	2021	2022	2023	2023目標
就労定着支援事業利用率	45.5%	41.2%	42.6%	70%

【札幌市の第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画の目標】

2026年度末の就労定着支援事業の利用者数について、2021年度末実績(324人)の1.41倍以上を目指します。

項目	第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画				
	2021	2024	2025	2026	2026目標
就労定着支援事業の利用者数	324人	391人	422人	→	457人
2021年度末実績比		1.21倍	1.30倍	→	1.41倍

○目標の達成に向けて順調に増加している。

■ 医療的ケア児への支援

【札幌市の第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画の目標】

2023年度末までに医療的ケアを必要とする障がいのある子ども等に関するコーディネート機能の構築を目指します。

項目	第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画			
	2021	2022	2023	2023目標
コーディネーター機能の構築	構築中	構築中	構築中	構築

【札幌市の第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画の目標】

2026年度末までに、医療的ケアを必要とする障がいのある子ども等やその保護者に対する支援の取組を推進します。

項目	第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画			
	2024	2025	2026	2026目標
支援の取組の推進	継続	継続	→	達成

○より充実した機能となるよう、取組を推進している。

◇ 前回新規 ◇

■ 障害児入所施設からの円滑な移行調整

【札幌市の第7期 障がい福祉計画・第3期 障がい児福祉計画の目標】

入所している児童が18歳以降、大人にふさわしい環境へ円滑に移行できるように、必要に応じて、2026年度末までに移行調整に係る協議の場を設置することをめざします。

項目	第7期 障がい福祉計画・第3期 障がい児福祉計画			
	2024	2025	2026	2026目標
協議の場の設置	継続	継続	→	設置

○ 協議の場の設置に向けて検討を継続している。

成果目標5 障害福祉サービス等の質を向上させるための取組に係る体制の構築

■ 障害福祉サービス等の質の向上を図るための取組の推進

【札幌市の第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画の目標】

2023年度末までに、本市における障害福祉サービス等の質の向上を図るための取組の実施体制を確保していくほか、事業所支援の取組を推進します。

項目	第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画			
	2021	2022	2023	2023目標
実施体制の確保	推進	推進	推進	確保
事業所支援の取組の推進	推進	推進	推進	達成

【札幌市の第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画の目標】

2026年度末までに、障害福祉サービス等の質の向上を図るための取組の実施体制を確保していくほか、事業所支援の取組を推進します。

項目	第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画			
	2024	2025	2026	2026目標
実施体制の確保	推進	推進	→	確保
事業所支援の取組の推進	推進	推進	→	達成

○ 質の向上に向けた取組を推進している。

成果目標6 障がいのある方に対する理解促進（札幌市独自設定）

■心のバリアフリーを理解している人の割合

【札幌市の第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画の目標】

心のバリアフリーを理解している方の割合について、2026年度で50.0%を目指します。

項目	第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画				
	2022	2024	2025	2026	2026目標
理解度	26.2%	35.2%	34.8%	→	50%

○引き続き目標の達成に向けて努める必要がある。